

[15] 都市ガス業

12'/11' 13'/12' ◎ 伸び率10%以上 ○ 伸び率0~▲10%

天気図マーク: ○ ○ ○ 伸び率0~10% ● 伸び率▲10%以下

1. 企業経営動向

(1) 都市ガス需要動向

- ① 平成12年度の都市ガス大手3社のガス販売量は、前年度に比べ872百万m³(46MJ/m³換算。以下同じ。)増加し、17,067百万m³(対前年度比5.4%増)となった。

これを用途別に見ると、業務用については、景気低迷に伴う合理化徹底、生産調整等により、対前年度比▲5.4%減少した。また、家庭用については、前年度に比べ需要家件数の増加及び気温が低めに推移したこと等により、対前年度比2.3%の増加となった。

- ② 平成13年度のガス販売量については、気温の平年度化及び家庭用・業務用ともに積極的な需要拡大努力を織り込み、全体としては対前年度比3.4%の増加を見込んでいる。

(2) 中期の見通し

ガス販売量について、家庭用では、今後の住宅着工件数の伸びとともに、都市生活の質的向上に伴う新たな需要の創造等、都市ガスの一層の普及拡大を図っていくことを前提に、また業務用については、他燃料との競合の激化等、依然厳しい環境にあるものの、ビル冷暖房・コージェネレーション分野での都市ガスの利用促進、発電分野における需要拡大等の販売努力を考慮して想定した結果、平成12年度から平成17年度の年平均伸び率は、家庭用1.3%、業務用6.3%、全体で4.2%程度と見込まれる。

(3) 企業業績

都市ガス大手3社の平成12年度の決算は、経常利益が1,274億円となり、前年度と比較して46.1%の増益となった。

これは、収入面においては、料金の引下げによる減収があったものの、原料費調整制度に基づく料金単価の調整及び冬場の低気温による販売量の増等により、売上高は、前年同期比9.6%増の1兆9,365億円となった。また費用面においては、労務費等の減少があったものの、LNG価格の高騰の影響による原材料費の増加や減価償却費の増等により、経常費用は前年同期比7.5%増の1兆8,317億円となった。

2. 設備投資動向

(1) 平成12年度実績見込み

平成12年度の設備投資実績見込み額は、総額3,039億円(調査対象16社)で、姫路基地工事等により前年度に比べ39億円(前年度比1.3%)増加している。

(2) 平成13年度計画

平成13年度の設備投資計画額は、総額3,058億円(調査対象16社)で、幹線工事の増加等により前年度に比べ19億円(前年度比0.6%)の増加となっている。

3. 長期資金調達・運用動向

(1) 長期資金運用動向

都市ガス業は、調達資金の殆どを設備資金に充当している。なお、関係会社等への投融資の資金調達に占める割合は10%程度である。

(2) 長期資金調達動向

- ① 平成12年度の設備資金等の調達は、内部資金が110.4%と調達の額を上回る見込みであることから、社債・借入金等の外部資金は、▲5.7%の減少となっている。
- ② 平成13年度の設備資金等の調達計画は、前年度と同様、内部資金が115.3%と調達の額を上回る計画であることから、社債・借入金等の外部資金は▲15.3%の大巾減少となっている。

(グラフ1：設備投資の前年度比の推移)

